

令和4年4月20日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立富田小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立富田小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・1年生から月1回英会話学習を継続して実施することで、児童は抵抗なく学習に取り組み、あいさつなどの基本的な表現に慣れ親しんでいる。
- ・ALTやEAAと授業以外で交流したり、校内に掲示された英語表記での掲示物を日常的に見たりすることで、低学年から英語に慣れ親しみ、言語や文化に対する理解が深まっている。
- ・今後も児童の興味・関心をより一層高め、コミュニケーション能力を育成していくために、アニメやICT機器、英語の絵本等を活用し、日常生活を英語で見たり数多く外国の方とふれあう機会を増やしたりしていきたいと考える。

(4) 学校関係者による評価

<児童の意見・感想>

- ・歌を歌ったり、歌に合わせて体を動かしたり踊ったりするのが楽しい。
- ・新しい単語を習ったり覚えたり発音したりするのがうれしい。
- ・ビンゴゲームやジェスチャーゲームをするのが楽しい。
- ・英語を聞いて内容が分かるようになってきた。
- ・ALTやEAAが分かりやすく教えてくれる。
- ・ALTが発音をゆっくり言ってくれるので、うまく真似できるようになった。
- ・英語であいさつをしたり短い会話をしたりできるようになってきた。
- ・アルファベットが難しくて覚えられない。書くのも苦手。
- ・英語を聞き取るのが難しい。
- ・発音に自信がない。大きな声で話したり発表するのが恥ずかしい。

<保護者の意見・感想>

- ・学校で習った英語を子どもが家で口ずさんでいることがある。小さい頃から英語を身近なものと感じてくれているようで、うれしい。
- ・英会話学習に楽しく取り組んでおり、外国語に関して興味関心が高まっているように思う。
- ・低学年では耳で覚えることが重要なので、1年生から英会話学習を行っていくことに期待している。発音も小さいうちから練習した方が、よくなると思う。
- ・英語に触れながら歌を歌ったり、ゲームを通して遊び感覚で英語を身に付けたりできるのが良い。
- ・月1回でも英語の学習を行うことで、簡単な単語や挨拶の仕方を覚えることができていると思う。

4. 実施の効果及び課題

<効果>

- ・1年生から英会話の学習に取り組んできているので、楽しんで活動している児童

が多い。

- ・音楽に合わせて体を動かしたり、ゲームを行ったりすることで、子どもたちの興味関心も高く、進んで英会話学習に取り組んでいる。
- ・児童から「いろいろな英語を覚えることが楽しい。」「分かるようになってきてうれしい。」という感想があった。低学年から英会話学習に取り組み慣れ親しんでいる効果の表れである。

<課題>

- ・「英会話学習が苦手。」という児童もおり、「発音に自信がない。」「英語を聞き取るのが難しい。」などの理由を挙げている。
- ・高学年になると、外国語が教科として行われるようになる。文字の読み書きを負担に感じる児童もおり、中学校へのつながりを考えた指導の難しさも感じている。

5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・児童の興味・関心を高めるような活動の工夫。
- ・外国の方と交流したり外国の文化に触れたりする場の設定。
- ・小中9年間のつながりをふまえた段階的な指導内容、指導法の工夫・改善。
- ・A L TやE A Aとの積極的な情報交換や打合せ時間の確保。
- ・I C T機器の活用。